

学校運営協議会議事録

校名	府立淀商業高等学校
校長名	高井 一男

開催日時	令和6年6月20日(木) 15:30 ~ 17:00
開催場所	会議室
出席者(委員)	委員 4名参加
出席者(学校)	高井 一男 校長、香西 朝夫 事務長、坂脇 康文 教頭
傍聴者	なし
協議資料	次第、学校運営協議会実施要項、 令和6年度学校経営計画及び学校評価、スクールポリシー
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> (1)新委員の紹介 (2)学校経営計画及び学校評価について (3)スクール・ポリシーの報告 (4)その他 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>・学校経営計画には、教育に関わる内容が満遍なく網羅されているように思います。</p> <p>・授業を見学した様子では、調べもの学習、発表等で、一人一台パソコンを上手に活用している様子が見られた。</p> <p>・1年生の情報処理(エクセル)では、入学してから2カ月程度であるにも関わらず、習熟度が非常に高いのではないかと感じた。これを機会に、情報処理検定3級にチャレンジし、合格することで興味・関心を高めていき、上位級をめざす、さらには、他の検定にもチャレンジしてもらいたい。</p> <p>・人前で自分の考えをしっかりと人に伝えるというプレゼン力は、将来的にも重要である。特に、商業科だけが行うのではなく、全ての教科・科目で、生徒のプレゼン力を高める授業展開を実施してもらいたい。</p> <p>・小学生を対象に8月にチャレンジキャンプを行うというのは、良い取り組みであると思う。生徒も目的意識をしっかりと持って取り組むことが、前向きに活動しようとする意識につながる。「淀商モール」についてもこのような観点で、実施していただきたい。</p> <p>・美化活動として、特に植栽などは、教員の管理下でもない。教育庁等の行政側がサポートしていく必要がある。子どもたちの学ぶ環境を整えていくことは学校としても重要である。植木が軒並み枯れているような環境は、生徒の心の乱れにも繋がりがかねない。ぜひ、学校から行政に伝えていただきたい。</p> <p>・学校の美化に関して、外部から来られる方(保護者、地域、企業など)は、このようなところを見ている。会社では、企業イメージにもつながるため、特に力をいれて行っている。</p> <p>・生徒が就職する際に、社会に出て役立つことを実践している授業が多くあった。生徒の将来を考えるうえで、高校在学中にこのようなことを学ぶことは大事なことだと思う。</p> <p>・ビジネスコミュニケーションで「お茶の入れ方」についての授業を行っていた。一般教養としては良いのだろうが、現実には、「お茶入れてくれる?」と部下に命令するとハラスメントになりかねなく、自分でお茶を入れる習慣になっている。このような新しい状況にも敏感に対応していく必要もある。</p> <p>・生徒指導の注意書きなどのポスターが張られていたが、白黒で理解づらい。「～しなさい」などの指導には、カラー化し、ロゴを変えるなど、目立たせることが必要であり、生徒に対してインパクトを与えることができる。</p> <p>・私が中学生の時に高校を選ぶ基準に、この学校でしかない魅力は何か注目した。淀商には「淀翔モール」、DX、資格取得などいろいろな要素があり、それらをもっとアピールしていくべきである。</p> <p>・中学校では学ばない専門科目については、スタート地点は全員同じであるということも、特徴の一つであると思う。</p> <p>・昨今、進学する人が増加傾向にあり、淀商も同様であると思う。そのため、〇〇大学へ進学するためには、どの資格を取り、どの程度の成績が必要なのか、どうすればその大学に行くことができるのかなど、大学ごとのモデルを示したほうが、生徒の目標が具体化し、めざしやすくなる。</p> <p>・大学に進学した卒業生や就職した卒業生からの生の声を聞ける機関があれば、生徒にとっても将来のイメージが膨らむ。</p> <p>・パソコンの操作方法など、在学中に学んだことが現場で生きており、応用も利くようになった。また、会社によっては、来客の際に女性社員がお茶をだす風習が残っているところもある。「お茶の入れ方」については無駄でもない部分もある。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和6年12月14日(土)
会場	未定